



2013～14 年度
国際ロータリー会長

Ron D. Burton

Weekly Report Niigata



2013～14 年度
新潟ロータリー会長

山本 正治



ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

2013～14 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 5月第 3例会 (2014.5.27 18:30 開会) No.3041

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 山本 正治会長挨拶

今日は夜例会ですので、あまり肩の凝らないお話しをします。テーマは「ギネスブックに載ったロータリー活動」とします。

自分たちの奉仕活動を新聞、テレビ、インターネットなどでアピールすることは重要です。以前は売名行為と批判されましたが、自分たちの活動の成果を知ってもらうだけでなく、ロータリーそのものを多くの人々に知ってもらうために推進すべきだと思います。

私はギネスブックに載ったロータリークラブの奉仕活動に興味を持ち、調べてみました。ギネスブック、ロータリークラブと入力しますと、日本語で2万件、英語で8万件ヒットします。その中から代表的な話題を紹介します。

福島北ロータリークラブの丸餅アートを紹介します。平成24年8月、「ふくしまキッズ博」が開催されました。福島北ロータリークラブ創立50周年記念事業として会場となった体育館に来場した子供たちに紅白の丸餅を並べてもらいました。8メートル四方に2万3862個の餅を並べ

福島県の形を描き、その中に L♥VE FUKUSHIMA と表示しました。会長の川瀬成人さんは「全世界に福島の子どもたちが元気に頑張っている姿を発信できたはず」とコメントしています。丸餅を並べて作った巨大なモザイクアートとしてギネスブックに認定されました。

どのロータリークラブもできそうですが、ここまでやるには会員も大変だったに違いありません。尊敬半分、同情半分というのが私の偽らざる気持ちです。2万個以上のお餅を準備するためにお餅屋さんの協力を得たようですが、並べた後の餅はどうされたのか他人事ながら心配です(笑)。

ギネスブック認定されたロータリー活動はまだまだたくさんあります。代表的なものとして、1990年イギリスのグランサムロータリークラブによる水泳マラソン大会があります。ポリオ・プラスの募金活動としてロジャー グレイブスが提唱した運動です。ロータリークラブの創立記念日である2月23日近辺でグリニッジ標準時 (GMT) の正午から13時までの間、世界同時に水泳を行うものです。毎年開催され、2012年の大会では世界23カ国から112クラブが参加し、泳いだ者は5000人以上に達した

そうです。ギネスブックでは「世界最大同時開催の水泳マラソン大会」として認定されています。グランサムは、このイベントなくしてほとんど知らない町であったと思います。アイザック ニュートンやマーガレット サッチャーの生地です。

2003年アメリカのワシントン州のタコマ#8ロータリークラブの会員だったクリス キンボル(証券投資情報サービス業) が始めたポリオ・プラスのための「世界最大の同時開催ドラマー大会」があります。4歳からドラムをたたいて育ったキンボルが実践しています。当時264名のドラマーが集まり、シアトルシンフォニー交響楽団の指揮者に指揮をお願いしました。この時点でギネスブック認定されていますが、その後毎年開催されており、現在10年目を迎えました。2012年には533名参加とか。毎回オリジナル曲を一曲演奏することが認定の条件とか。

2008年国際ロータリーがロサンゼルス国際大会を開催した時、カリフォルニアのウィルミントンロータリークラブが識字率向上キャンペーンとして児童図書寄贈を会員に呼びかけ、7日間で約24万冊が集まりました。ギネスブックでは「7日間で最も多く集めた図書」として国際ロータリーが認定されています。

2012年オーストラリアのサーファーズサンライズロータリークラブの活動がギネスブックで認定されました。ゴールドコーストのサーファーズ パラダイス ビーチサイド遊歩道で、「229台の車椅子が連なり進行し、世界一長い車椅子行列を作ったこと」です。このロータリークラブは、世界で車椅子を必要としている障がい者を支援するための募金活動や、津波で被害にあった地域に学校を建設する奉仕活動を行っています。

まとめをします。ギネスブックに載った事例を見ると、単発の活動でギネスに載る場合と継続して評価される場合に分けられます。前者には福島北ロータリークラブ、図書寄贈、車椅子行列、後者には水泳マラソンやドラマー大会があります。特に国際ロータリーが意義ある業績賞として表彰しているのは後者が多いようですが、ここには共通点があります。

それは熱心なロータリアンの存在です。さらにその個人的思いを許す周囲のサポートです。日本ではロータリー活動の単年度制が徹底されており、水泳マラソン大会やドラマー大会のような活動は難しそうです。しかしこれからの

奉仕活動は世界で“オンリーワン”でありたいものです。

熱心なロータリアンの出現を期待しています。私たちは惜しみない支援を行いたいと思います。

(3) ビジターの紹介

・松本 英明君(浪江 RC) 委員会報告

(4) 委員会報告

・高橋 康隆料理研究会会長

7月16日(水) 18時~新潟調理師専門学校にて
料理研究会を開催致しますので、参加ご希望の方は
事務局へお申し込みください。

「旬の青魚を使った料理あれこれ」

参加費:3,000円

(5) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(佐藤 紳一副委員長)

樋熊 紀雄君

(6) ニコニコボックス紹介

・岡田 茂久君 5月22日 結婚記念日に素敵なお花
が届きました。ありがとうございました。

・佐野 晃之君 昨日(5月26日)会社から発表があり、
私事、きたる6月18日を以て当社を退職することになり
ました。行く先は未公表ですが当社のグループ会社で
ロケは東京都区内になると思っており、新潟を離れる予
定です。先日、次年度の社会奉仕委員長仮指名もいた
だきましたが、辞退することになりお詫びいたします。と
は言え、今のところ6月17日(離任前日)の例会までは
出席するつもりでおります。ということで、もう少しお付き
合いいただきたく涙をこらえてニコニコいたします。

(7) 会員スピーチ

「人は置かれた場所で花を咲かせよ

(老化に向き合う)」

フリーランス内科医 横山 芳郎君

(8) 本日の出席率 59.35 %

(2週間前メーク後 88.30 %)

6月3日の例会予定

会員スピーチ

「社員が幸せになる職場づくりに挑戦しよう！」

(株)総合教育研究所代表取締役 石橋 正利

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

会員専用ページログイン情報

ユーザーID niigata

パスワード rrcrcrc

グローバル補助金 2014年5月報告書

グローバル補助金奨学生

イリノイ大学大学院アーバナシャンペーン校修士課程在籍

麴沢 美裕

5月に入り、毎日のように30℃近くまで気温が上がる日が続き、すっかり夏になりました。5月12日に今学期の期末試験が終わりました。現在は夏休みで、前回の報告書でお話させていただいた教授の研究室で毎日実験に取り組む日々です。今学期の成績は、専門科目の授業を3個受講しましたが、すべてA-(A マイナス)でした。Aがあと一歩取れなかったのが非常に悔しかったのですが、今学期は土日も無いくらい課題やグループミーティングで忙しく、現在は達成感いっぱいです。GPAは、先学期は3.3でしたが、今学期は3.67で、先学期と比較して0.37ポイント上げることができたので、非常に嬉しく思います。今学期の反省(試験の受け方、解答の仕方や時間管理)を来学期に活かしたいと思っています。

研究の方は、4月の終わりに始まったばかりですが(写真一枚目参照)、北大での経験がとても役に立っていて、学部生のときはイリノイ大学大学院を含む米国大学院の出願に追われ大変でしたが、やはりあの時出願と同時に実験を頑張っていた良かったと思います。まだ知識不足な点があり、これに関しては実験経験を積むだけではなく、論文や文献を積極的に読むことで精進していきたいです。実験ができるということで毎日が現在非常に楽しく、今まで留学してから自分がしたかったことは研究だったのだと気づきました。教授から素晴らしい機会を与えていただいたことに感謝し、この夏は研究室で働き、研究に集中する予定です。

5月の中旬にキャンパス内のJapan Houseに訪れたところ、茶道のイベントの日で、参加させていただきました(写真二枚目参照)。この日茶道を披露したのはアメリカ人の高校生で(写真二枚目の着物を着た女性)、美しい動作に驚きました。私は茶道はできないのですが折角の機会なので、いつもお世話になっている郡司紀美子様とお話をして、これから参加できる限り茶道のイベントのお手伝いをさせていただくということになりました。外国で、そして茶道を知っているアメリカの学生たちから日本人の私が茶道を習うというのはとても不思議な形ですが、非常に貴重な機会ですので、できるだけこれから参加し、茶道についても学びたいと思っています。

今月は学期末だけでなく、大学の卒業式があり、多くの生徒が卒業式用のガウンを来て、キャンパスのあちこちで家族や友達と嬉しそうに写真を撮っている姿をよく目にしました。私の日本人の友達二人も、一人は学士を取得、もう一人は修士を取得し今学期卒業しました(写真三枚目参照)。一人はアメリカで生まれているので、正式に言えば日系アメリカ人、もう一人は小学校からこちらにずっと住んでいるので在米歴12年と、二人とも

ほぼアメリカ人ですが、アメリカに来たばかりで英語もうまくない私を非常に助けてくれ、様々な場面で彼らから刺激を受けました。彼らが卒業することで少し寂しくなりますが、来学期から来る日本人留学生との新しい出会いに期待をしたいと思います。

以上をもちまして、5月の報告書とさせていただきますと思います。

